

## 全体報告

日本文学科で日本語教育演習クラスを受講している学生 14 人が、2008 年 9 月 15 日～20 日の 5 泊 6 日の日程で韓国へ行ってきました。韓国は世界で最も日本語学習者が多い国。第二外国語として日本語を学ぶ高校生のクラスに参加したり、韓国の大学生とともにインタビュー活動をしたり、上級者向け日本語講座でインタビューの相手となったり、さまざまな活動を通して日本語教育への理解を深めました。お隣の国、韓国の人々の温かい人情にも触れ、韓国語や韓国文化に対する興味も一層高まったようです。

### 9 月 16 日

姉妹校である忠南大学校へ。ビジネス日本語や日本文学の授業に参加しました。写真は、韓国の学生とともにロールプレイをしている様子です。



### 9 月 18 日

大真大学校の学生とともにインタビュープロジェクトを実施。韓国で日本語を使って仕事をしている韓国人や日本人の方にインタビューし、その結果をまとめ、発表しました。大真大学校では本学の卒業生が日本語教師として活躍しています！

すべての活動が終わった後、大真大学校の学生と記念撮影。全員、協力し合って良い発表ができました！



### 9 月 19 日

慶福ビジネス高等学校の日本語クラスに参加しました。突然「日本の盆踊りを教えて！」とリクエストされるワンシーンも。

高校生のインタビューの相手にもなりました。質問の内容は、仙台の位置や有名なものなど。限られた日本語力で一生懸命コミュニケーションを取ろうと頑張る生徒たちにエネルギーをもらいました。

#### 【参加学生の声】

今回の研修は、日本語教育だけではなく様々なことを学ぶことができ、本当に貴重な経験となった。日本には気がつかない日本を感じることができ、自分の目で見て、経験するというのは大切なことなのだと改めて実感した。日本語教育への関心は更に高まり、今まであまり関心を持ったことがなかった韓国という国は大好きな国となった。

この研修で学んだことは生涯忘れられないだろう。これからはこの経験を生かせるような生活をしていきたいと思う。また、まだ複雑な問題を残している日韓の関係もよりよいものになってほしいと願っている。(Tさんのレポートより一部引用)